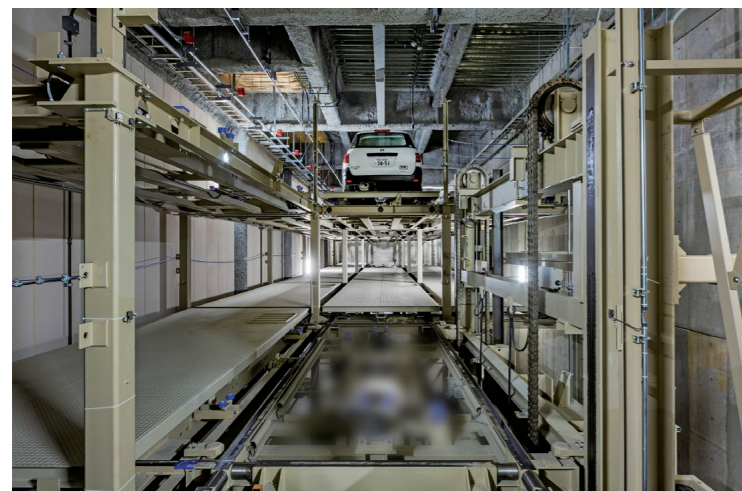
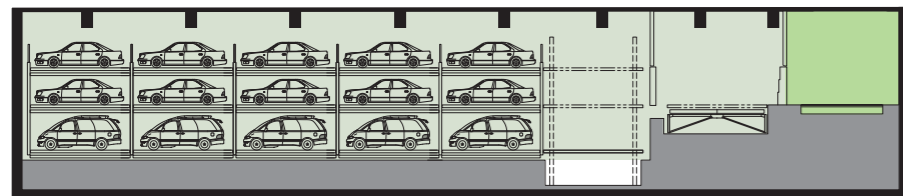




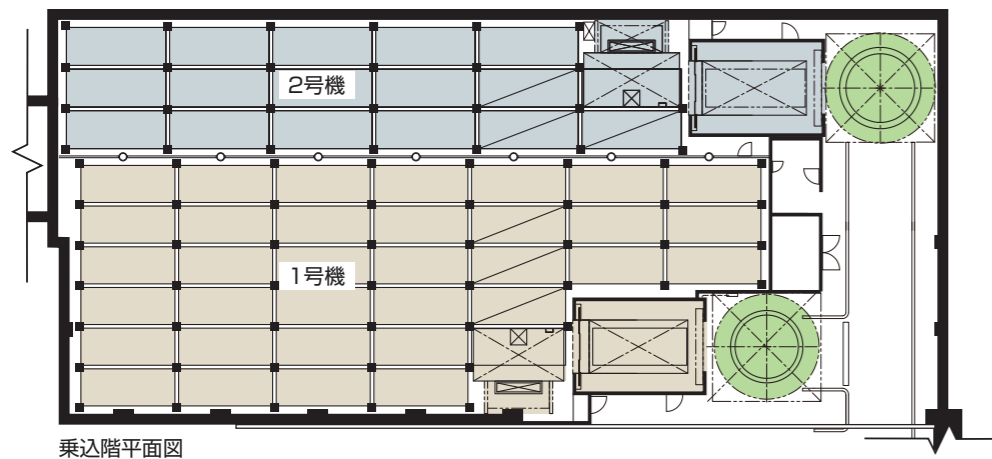
1号機：格納部



2号機：格納部



断面図



乗込階平面図



オートドア開時：車両入庫時



乗降室内：格納部ドア開



乗降室内：車両格納部(リフト)移動



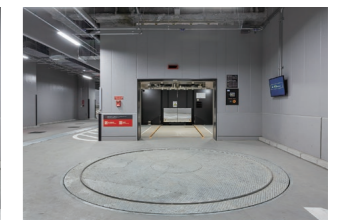
KANDA SQUARE 外観



1号機・2号機：駐車場前面



1号機：オートドア閉時



1号機：オートドア開時

【建築概要・規模】	■ 建築主 / 住友商事株式会社
	■ 敷地面積 / 9,761.29㎡
	■ 延床面積 / 約85,257.33㎡
	■ 建物規模 / 地上21階、地下1階
	■ 設計 / 株式会社日建設計
	■ 施工 / 株式会社大林組
【駐車設備概要】	■ 機種 / 水平循環方式フレキシブルパーク
	■ 型式 / 1号機：FLX1SGR3-91 (9) FUDSPV
	2号機：FLX1LSRH-40 (9) FUDSPV
	■ 収容車サイズ /
	1号機：全長5,000mm×全幅1,900mm×全高1,550/2,000mm 重量2,300kg
	2号機：全長5,300mm×全幅1,950mm×全高1,550/2,000mm 重量2,500kg
	■ 収容台数 / 1号機：特中型車61台 ハイールーフ車30台 計91台
	2号機：大型車27台 ハイールーフ車13台 計40台

KANDA SQUARE

機械式駐車設備 ● 納入事例

日本の伝統美「錦織」をテーマにした
品格も使い勝手も抜群の大型複合ビル

東京のビジネスフロントである丸の内・大手町エリアと、古き良き伝統・文化を受け継ぎながら「日本情緒」が深化する日本橋・八重洲エリアが重なる神田エリア。この場所の核となる大型複合ビル「KANDA SQUARE」(神田スクエア)は2020年9月4日に全面開業しました。

施設は住友商事単独の不動産事業としては過去最大の規模で、東京電機大学神田キャンパスおよび神田警察署の跡地にこの施設はつくられました。神田錦町という地名に敬意を込め、日本の伝統美の結晶でもある「錦織」をテーマにデザインされています。横糸を模した水平庇と、縦糸を模した縦庇は日射遮蔽の役割を果たしつつ、織り紡がれるように、そして品格をも演出しています。

建物の5〜21階はオフィス、3階が小ホールおよび貸会議室、2階が多目的ホール、1階にはスーパーマーケット「サミット」をはじめ、コンビニエ

ンストア、ライフスタイル雑貨ショップ、レストランなどが入居する商業ゾーンが配置されています。

外構部分には、「人、まち、緑を引き込み結びつける場」というコンセプトにちなんだ芝生広場が配置され、季節の移ろいを感じられる樹木が高くそびえ立ち、

ウッドステージや日よけのタープが備えられています。WiFiが整備され、コンセントや照明などの機能もあり、ファミリーで楽しめるほか、ワークプレイスとしての役割も担っています。

住友商事がオフィスビル事業において戦略的重点地域と位置づけている神田エリア。新たなランドマークとして親しまれています。

古い住居と小規模建築が密集する神田で
大規模駐車スペースの確保を実現

神田錦町といえば、古本屋街に隣接し、古い住居や商店、小規模建築が密集する一方、新しい中規模建築が混在する地域。そこで求められたのが、省スペースを有効に活用するための自由度の高いパーキングシステムでした。また、道幅が狭い道路に囲まれた施設の駐車設備には、車の取り出しのスピードも必須でした。こうした要望に

応える形で、日精の水平循環方式「フレキシブルパーク」が導入されました。

特に今回採用された仕様は、乗降室分離型タイプ(格納部へ直接引込むタイプ)。優れた平面効率を活かし、地下に2基を併設して、車の収容力を最大対応致しました。特殊な環境こそ、より最適な設備を提供する。これも優れた技術力を持つ日精の強みの一つです。